

海ごみって何だろう？

わたしたちの暮らしなどから海に流れ出るごみを「海ごみ」といいます。「海ごみ」には、
海岸に流れつく漂着ごみや海にただよっている漂流ごみ、海の底にすんだ海底ごみがあり、
さまざまな問題を引き起こしています。



気づかないうちに
ふるさとの
海岸や海を
汚しているかも
しれないよ！



中にはさわると
キケンな漂着ごみも
あるから注意が
必要だよ！



Q.1 海岸に漂着するごみは、どこからくるのでしょうか？

答 海岸へと流れてくるごみは、さまざまな場所で発生し、川や水路などを通して流れつきます。



山や川などで発生する自然ごみ
竹、樹木等

暮らしの中で発生する生活ごみ
ペットボトル、ビニール袋、紙、プラスチック、生ごみ等

海岸の利用にともない発生するごみ
バーベキュー・海水浴利用時のごみ、釣り道具、漁用のアミ、漁具等

船や外国などほかの地域から流れてくるごみ
注射器、医療ごみ、ポリタンク類、ペットボトル等

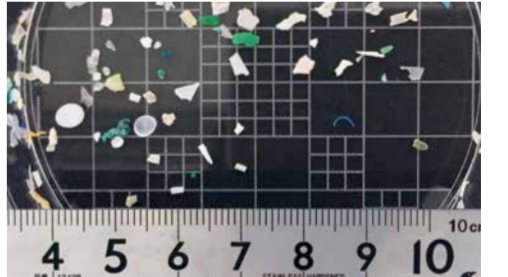
Q.2 海ごみが増えると、どうなるのでしょうか？

答 海ごみが増えると、社会にいろいろな問題が起こります。

<p>景色等への影響</p> <p>うつくしい海岸がよごれてしまうと、ガラスの破片など危険なごみによってケガをする危険性もあります。</p>	<p>経済活動等への影響</p> <p>砂浜や海に流れこんだごみは、海水浴や観光客、漁業への影響が発生し、漁師さんや海岸を管理する人たちが困っています。</p>	<p>生物等への影響</p> <p>釣り糸が、動物などにまきついたり、ごみをまちがえて飲みこみ死んだりして、動物への影響もあります。</p>
--	--	--

マイクロプラスチックを知っていますか？

大きさが5mm以下の小さなプラスチックのことです。ペットボトルやビニール袋などが太陽の紫外線や波の力などによって、どんどんこまかくなっていきます。マイクロプラスチックになってしまうと、拾いあつめるのがとても大変になってしまいます。



写真：九州大学 磯辺研究室 提供

Q.3 『海ごみを減らすために、何ができるのでしょうか？』

きれいな海岸や海を、取り戻すため、みんなで考え行動してみよう！



福岡県マスコットキャラクター エコトン